



月刊税理士事務所チャンネル

CHANNEL

2020
9
No.469

シリーズ企画

広がる「応援の輪」今こそクラウドファンディング活用!..... 2

事務所訪問

青木修一税理士事務所..... 6

ミロク会計人会連合会 & 単位会
定期総会報告 9

東京会企画①

高輪ゲートウェイ駅とその周辺の魅力 10

東京会企画②

「文化・アートのみち」に進化した
東京・立川の魅力と見どころ 12

東京会企画③

キョンなどの狩猟体験ツアーで
「命と自然の尊さ」を伝える 14

ミロクシステムQ&A

『電子申告』 15

会計人のリレーエッセイ

東京ミロク会計人会 宇津木 一郎 19

今月の表紙:趣向を凝らした高輪ゲートウェイ駅の構内
場所:東京都港区 提供:JR東日本

日本の未来一
企業を支える



ミロク会計人会

<https://www.mirokukai.ne.jp/>

広がる「応援の輪」 今こそクラウドファンディング活用！

新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの中小企業が経営難に陥っています。こうした中で改めて注目を集めているのが、インターネットを介して大勢の人から支援を募る「クラウドファンディング」です。そこで、今回は応援購入プラットフォーム「Makuake（マクアケ）」の取り組みを、運営会社である（株）マクアケの中山 亮太郎社長に伺うとともに、その他のクラウドファンディングを活用し、資金調達を実施した事業者の事例も紹介します。

今の時代にマッチした「応援購入」のメリット

当社では一般的なクラウドファンディングと差別化を図るために、「Makuake（マクアケ）」を「新しいものや体験の応援購入サービス」と位置付けています。クラウドファンディングというと「募金や寄付を集める仕組み」といったイメージがあるかと思いますが、Makuakeはこれまでにない新たな商品・サービスを応援購入するためのプラットフォームなのです。では、通常のECサイトと何が違うのかというと、例えばものを作る前に応援購入するサポーターを事前に募る仕組みになっているため、新たな商品・サービスを販売するだけで



中山 亮太郎 氏
（株）マクアケ 代表取締役社長

慶応義塾大学卒業。2006年、サイバーエージェントに入社後、社長アシスタントやメディア事業の立ち上げを経て、10年からベトナムにベンチャーキャピタリストとして赴任。帰国後、13年に（株）サイバーエージェント・クラウドファンディング（現・（株）マクアケ）を設立し、代表取締役社長に就任し、応援購入サービス「Makuake（マクアケ）」をリリース。着実に実績を積み重ね、19年に東証マザーズ上場を果たす。

なく、テストマーケティングやPRの場としてMakuakeを活用できるという利点があります。まずはMakuakeで消費者の反応を確認してから、さらに改善が必要であれば改善する、売上げが好調であれば生産量を予定より多めに準備する、売上げがいまひとつであれば製品の改善点やターゲットを見直したり、場合によっては取りやめを検討するといった判断をくだすことができるわけです。また、事業者にとっては試作段階でキャッシュを得ることができるというのも、大きなメリットになっています。

ちなみに、Makuakeを通してヒットする商品の多くには、新奇性だけでなく、独自のストーリーがあります。既に無数の商品・サービスで溢れ

ている日本においては、ストーリー性が重視される傾向が強いのです。そのため、当社のキュレーター※は事業者と念入りに打ち合わせを行い、その思いやこだわりがサイト上でしっかりと伝わるように努めています。

おかげさまで、Makuakeの事業規模は年々右肩上がりで成長し続けており、これまでに実施してきたプロジェクトの数は1万件を超えるまでにになりました。そして今、コロナ禍によるステイホームや外出自粛といった生活環境の変化によって、そのニーズはさらに拡大しています。自宅で過ごす時間が長くなり、多くの人が自宅での生活を豊かにしてくれるような商品・サービスを求めるようになった他、外出自粛によってこれまで以上にeコマースが一般化してきたからです。

もちろん、事業者もそういったニーズに対応した商品・サービスを次々とリリースしているので、ここからはいくつかの事例を紹介したいと思います。
Makuakeを活用してピンチをチャンスに

コロナ禍にあつて特に顕著に増えているのが、もともと下請けを中心としていた製造業がオリジナル商品をリリースする動きです。例えば、ある縫製

※ 博物館、美術館、図書館などの施設において、収集する資料の鑑定や研究などを行う人物。そこから派生し、同社の場合はプロジェクトの魅力を引き出し伴走する担当者を指す

メーカーでは百貨店などの売上げが急激に下がり、発注元からの受注が激減してしまったのを機に、思い切っておリジナル商品の開発に踏み切り、Makuakeでリリース、大いに注目を集めました。なお、こういったケースにおいては、引き続き自宅での生活を豊かにしてくれる商品が売れています。例えば、テレワークで自宅にいる時間が長くなったことから、着心地と機能性に優れた作務衣などがヒットした他、新潟県燕三条の刃物やキッチン用品などもヒットしました。

また、飲食店に関しても面白い動きがありました。デリバリーやテイクアウトに続く第3の柱として、お取り寄せに対応した商品を開発し、Makuakeでリリースするといった取り組みが活発化したのです。実際、イタリアンのお店がパスタソースを開発したり、居酒屋が冷凍のおつまみセットを開発したりと、さまざまな

ジャンルの店が個性的な商品開発に取り組み始めました。これまでに飲食店がMakuakeでお取り寄せ商品を開発するという動きはほとんど見られなかったのですが、まさにコロナ禍の窮地から生まれた新たなチャレンジと言えるでしょう。

このように個別の事業者の取り組みが増加する一方で、当社でMakuakeの中に特設ページを設け、各産業を支援したケースもあります。その一つが「オンライン陶器市2020」です。陶磁器の産地では毎年ゴールデンウィーク前後に大規模な陶器市を開催し、窯元や作家が新作などを発表しますが、今年はコロナ禍のため、こうしたイベントが軒並み中止になってしまいました。そこで、当社では食器・生活雑貨を取り扱う「クラフトストア」と協業し、それぞれの産地や事業者が声をかけ、オンライン陶器市を開催してみることに。すると、有田焼や波佐見焼など全国各地の窯元や作家が続々と参加を表明し、事業者からも消費者からも多数の喜びの声を頂戴することができました。

これと同様の手法で開設したもののの中に「オンライン日本酒市2020」があります。政府の緊急事態宣言を受けて飲食店が休業を

余儀なくされる中、販路を失ってしまった蔵元を何とか応援できないかと思い、日本酒専用WEBメディア「SAKETIMES」とともに企画した特設ページです。早速、各蔵元にオンライン上で新酒をお披露目してもらったところ、こちらも大いに注目を集め、事業者からも消費者からも喜んでいただけました。陶磁器や日本酒に限らず、潜在的なファンが多い産業はまだまだ存在すると思うので、当社ではこれからもこういった取り組みを積極的に推進し、応援購入によって日本の産業を元気づけていきたいと考えています。

その他、コロナ禍と直接的な関係はありませんが、芸能人がモノづくりに挑戦するといった動きもありました。例えば、アーティストのきやりーぱみゅぱみゅさんはメーカーとコラボレーションして香水とボディクリームを開発し、ボディクリームに関しては500万円以上、香水に関しては1400万円以上の売上げを達成しました。また、声優の小岩井ことりさんもメーカーとコラボしてイヤホンを開発し、なんと1億円以上の売上げを達成しています。芸能関係もテレビやドラマの収録やイベントが中止になってしまったことから大打撃を受けたの

で、今後はこういう動きがさらに活発化するかもしれません。当社ではこういったコラボのマッチングなども手掛け、より良い商品・サービスが生まれるように努めています。

こうした取り組みを通じて、私はこの間、地方の経営者の皆さんのメンタルの強さをあらためて実感しました。いろいろな経営者の方々からお話を伺う機会がありましたが、いずれも収益減に悩まされながらも、前向きに活路を見出そうと努力されており、頼もしさを感じるほどでした。ウィズコロナ、アフターコロナの影響はまだまだ尾を引くとは思いますが、それでも事業者は創意工夫を諦めないし、また同様に消費者も楽しむことを諦めたいはず。その両者をしっかりとつなぐことができるよう、私たち自身もMakuakeというプラットフォームに磨きをかけ続けたいと思います。

本誌アンケートに答えた方に毎月抽選で

2,000円分を
プレゼント!



QRコードからアクセスし、
ぜひお答えください!

寄付型クラウドファンディングの活用事例

「Makua」の取り組みに続き、ここでは寄付型クラウドファンディングを活用した映画館とNPO法人の事例を紹介します。

事例①

名画座がクラウドファンディングに挑戦
アフターコロナを見据えた設備投資も

コロナ禍ではエンターテインメント業界も大打撃を受けました。

例えば、映画館もその一つ。緊急事態宣言を受け、全国各地の映画館が1、2か月ほど休館を余儀なくされた他、再開後もソーシャルディスタンスを維持するために座席数を制限せざるを得ないなど厳しい状況にあります。

こうした中でクラウドファンディングを活用し、アフターコロナを見据え



映画の魅力を伝え続ける久保田支配人



ギンレイホールのレトロな外観とロビー。ちなみに、2021年公開予定の映画『キネマの神様』（山田洋次監督）に登場する映画館「テアトル銀幕」はギンレイホールがモデルとされている

DATA

東京都新宿区神楽坂2-19
TEL 03-3269-3852
<http://www.ginreihall.com/>

た設備投資を進めているのが、東京・飯田橋にある「ギンレイホール」という映画館です。この映画館の前身は「神楽坂銀鈴座」という松竹系の封切館でしたが、1958年に火災によって全焼し、60年に「銀鈴ホール」として新たに生まれ変わったそうです。そして、74年からは2本立て上映を主体とした「ギンレイホール」という名画座になり、全上映作品を鑑賞できる年間パスポート制の「ギンレイ・シネマクラブ」を発足したり、神楽坂映画祭をはじめとした映画文化活動を展開したりしながら、多くの人たちに映画の魅力を届け続けてきました。

しかし、コロナ禍の影響を免れることはできず、2月中旬頃から来館者の数は徐々に減少。さらに3月頃からは「コロナが怖くて電車に乗れないので観に行けない」「家族に止められて行くことができない」といった声とともに、来館者数がさらに減少していきました。そして政府による緊急事態宣言を受けて、4月8日から2か月間は休館を余儀なくされたそうです。「売上げが2、3月と半減した上に休館中はゼロだったので、合計で約3000万円もの損失が生じてしまいました」と久保田 芳未支配人は振り返ります。現在は2本立て上映を再開しているものの、座席を半数以下に制限したり、上映回数を減らしたりしているため、通常の2、3割の収益しか上げることができないそうです。

そこで、同館が着目したのが「MotionGallery（モーションギャラリー）」というプラットフォームを活用し、寄付を募ることでした。「以前から映画文化活動のためにクラウドファンディングの活用を模索していましたが、今回は存続をかけた資金援助のお願いなので覚悟を持って実施に踏み切りました。ご支援の特典としては、オリジナルグッズ（クリアファイル、トートバ

ッグ、Tシャツ）や会員カードなどをご用意しました」と久保田支配人。

6月19日に開始されたこの取り組みは、SNSなどを通じてすぐさま多くの映画人や文化人、映画ファンの間で話題になり、開始4日目にして目標金額の1000万円を達成。最終的には2000万円以上の寄付を集めることに成功しました。「想像以上の反響に驚きましたが、私たちの活動以前に映画監督の深田 晃司氏と濱口 竜介氏が発起人となって『ミニシアター・エイド（MiniTheater Aid）基金』（モーションギャラリーで実施）で3億3100万円以上の寄付を集めてくださったこと、そして小規模な映画館を応援しようという機運が盛り上がっていたことが大きく影響したのだと思います」と久保田支配人。その上で「応援してくださった皆様に感謝しつつ、いただいた寄付は損失の補填に充てるとともに、一部はアフターコロナの時代にも安心してご来館いただけるよう、館内や座席の抗菌施工や手洗器の自動水栓化などに活用したいと思っています」とも。ぜひともこの危機を乗り越えて、末永く名画座の明かりを灯し続けてほしいものです。

事例②

クラウドファンディングを活用して
主力事業や組織体制の見直しを図る

東

日本大震災を機に、2012年6月に発足したNPO法人SET。

当時、同NPOの三井俊介理事長は法政大学の学生でしたが、岩手県陸前高田市広田町の復興支援に携わったのを機に大学卒業後は広田町に移住、現在に至るまで広田町における地域活性化に力を注ぎ続けています。

そんな同NPOのメイン事業は、地域おこしの担い手を育成するために13年から実施している「Change Maker Study Program」。若者たちに広田町に1週間滞在してもらい、その間、地域における課題の発見、解決策の提案・実行・報告を行ってもらおうというものです。また、17年からはこのプロ



「まちづくり」と「人づくり」をテーマに活動する三井理事長



「Change Maker Study Program」の一コマ。地域住民と接しながら地域の課題とその解決策を模索していく

DATA

岩手県陸前高田市広田町
字山田52-6
TEL 0192-47-5747
<https://www.set-hirota.com/>

グラムを発展させた「Change Maker's College」も展開。実施期間は4カ月で、参加者たちは週に2回の授業でウェルビーイングとサステイナビリティを学びながら、課題解決型のビジネスを立ち上げていくといっています。ちなみに、市外からの参加者で広田町での長期滞在を希望する人には、同NPOが日中の仕事やシェアハウスを手配し、より広田町での暮らしに入り込めるように支援することです。

しかし、コロナ禍によって20年はこうしたメイン事業に甚大な支障が生じました。「本来であれば2月からChange Maker Study Programで約200名の大学生を受け入れる予定でしたが、社会的責任と人命を最優先し、全額返金の上で中止を決定しました。しかも、この事業は私たちの年間収益の7〜8割を占めるものだったため、翌3月末には倒産の危機に直面す

ることになってしまいました」と三井理事長。そこで、三井理事長は助成金などの情報収集に奔走しましたが、NPO法人に特化した緊急時の助成金がないことが判明、次の一手として2月28日から「倒産を回避し、未来につなげるための資金調達を行う」ために「Syncable(シンカブル)」というプラットフォームを活用して寄付を募ることにしたそうです。その結果、「ありがたいことに開始後わずか2日間で初期目標の200万円を達成することができ、3月末に倒産という最悪の事態を免れることができました。その後新たな組織づくりに向けて、追加で500万円の目標を掲げたところ、シンカブルだけで500万円以上の支援を受けることができました」と三井理事長。そして、この寄付に国や民間企業からの補助・融資などを加え、どうにか来年7月までは資金繰りのメドを立てることができたそうです。「絶望的な状況でしたが、メンバー全員で『ピンチはチャンス』という視点を共有できたことが大きかったように思います」と三井理事長は振り返ります。

もちろん、こうした資金繰りとともに、同NPOは新たな組織づくりのためにさまざまなことに取り組んできま

した。「コロナ禍が収束するまでには2年以上かかると想定し、今まで主軸としてきた交流事業の見直しを検討するなど、新規事業の開発に本格的に着手し始めました」と三井理事長。さらに「持続可能性を高めるために組織体制の見直しを図ったり、現地メンバー全員でビジョンを共有し合う時間を週に1回、3時間ほど確保したりしてきました」とも。

また、こういった経験をきっかけに、三井理事長は「地方の価値を再確認できた」と言います。「地方は都会のようには過密状態になることが少なく、感染リスクを抑えることができます。最近では早くも地方への移住を検討している人が増えているそうなので、コロナ禍収束後を見据えて、さらに広田町の魅力を高められるような事業を展開していきたいと思っています」と。そして、交流事業に関しても「徐々に万全の体制で人を迎え入れていく」としており、この4月からは3週間の隔離体制を設けた上で、10名の参加者を受け入れてChange Maker's Collegeを実施していきます。コロナ禍を経て、SETがどのような進化を遂げ、地域にどのような成果をもたらすか、これからの要注目です。



顧問先企業に足しげく通いながら 多様なツールを駆使して経営を支える

横浜駅からほど近くに位置する青木修一税理士事務所。長年にわたって毎月の訪問と面談を基本とする丁寧な経営サポートを続けてきたおかげで、数多くの顧問先との間に強固な信頼関係を築いています。所長の青木 修一先生にこれまでの歩みと展望を伺いました。

毎月の訪問を通じて培った 顧問先との信頼関係

——まず開業の経緯をお聞かせください。

青木 修一所長（以下、敬称略） 地元の会計事務所で働く傍ら、横浜簿記学校及び代々木簿記学校に通って税理士資格を取得し、勤続12年で独立しました。ちょうど平成元年、好景気の真只中で新たに事業を立ち上げる人が多かったため、税理士の需要が高まっていた時期です。特に消費税導入に伴う業務体制の構築についてはセミナーや講演などにも引っ張りだこで、新規顧問先が広がっていました。以前の事

務所にいた時に担当していた顧問先を独立後に一部引き継がせていただいたことも、好スタートが切れた一因だったと思います。

——開業時に掲げたコンセプトや理念を教えてください。

青木 顧問先に求められることであれば、極力それに応えるようにする、と決めていました。そしてこれまで、毎月1回は顧問先企業を訪問するよう心掛けてきました。会社の事業内容や社内の雰囲気、その他さまざまな事情をしっかりと把握したほうが、顧問先が本当に求める経営サポートを実践できると考えるからです。また定期的に通っていると、順調に利益を出している

事務所 訪問

青木修一税理士事務所

所在地 神奈川県横浜市西区高島2-10-13
横浜東口ビル607号
TEL 045-461-2570
設立 1989年
職員数 3名





横浜駅からほど近くアクセス良好なオフィス

顧問先に事前にどのくらい税金が増えるかを予測して伝えるなど、決算期に向けて日頃からさまざまな準備を行うことができ、毎年決算期に慌てることもありません。いわゆるこの「月次決算」ですが、上述の意義から年1回の顧問料契約のところに關しても、毎月帳簿をチェックするようにしています。こうしたスタンスのおかげで、現在に至るまで30年以上にわたって、多くの

顧問先と長い信頼関係を築くことができたのだと思います。

——ここ数年、顧問先からの相談内容としてはどういったものが増えていきますか。

青木 長い付き合いの顧問先が多いだけあって、高齢の経営者から事業承継の相談を受けるケースが増えていきます。業界全体を見渡すと、経営者の代替わりを機に新社長が顧問税理士を変更する例もあるようですが、当事務所では毎月の訪問で次期経営者とも馴染みの間柄になっているので、今のところそうしたことはありません。逆に事業承継を機に関係性が深まった例があります。例えば昨年、とある顧問先の共同代表のうちの一人が急逝してしまい、経営をもう一人の方に移行するお手伝いをしたのですが、亡くなった方が事務方全般を担当していたため、同社の経理業務を丸ごと私たちの事務所で引き受けることになりました。急場ではありましたが、それまで積み重ねてきた信頼関係性があったからこそその依頼だったと思っています。同様に、私どもの事務所

では複数の顧問先の経理全般をアウトソーシングの形で引き受けています。

会務や勉強会における学びと交流を重視

——事務所業務の傍ら、青木先生はこれまで税理士会などの役職も積極的に務めてこられたそうですね。

青木 税理士資格取得後、すぐに支部の役員となり、2005年には東京地方税理士会横浜中央支部の支部長になりました。会務を通していろいろな先生方と交流し、情報交換を重ね、税理士としてのあり方について学んできました。また、そうしたつながりの中で07年には東京地方税理士会とNPO法人税理士による公益活動サポートセンターの理事、14年からは社会福祉法人横浜市福祉サービス協会の監事を務めるなど、さまざまな外部団体の監事や理事も歴任してまいりました。

——同世代の先生たち同士での交流の機会は現在でも多いですか。

青木 税理士試験受験当時より交流のある仲間同士での事例研究などの勉強会を現在も月1回継続しています。メンバーは10〜12人で、さらに若い世代も加わってくれているので刺激になっています。

ウィズコロナの顧問先支援と次世代への展望

——今年の2月以降、コロナショックで規模の大小を問わず数多くの企業が大ダメージを被り、現在もその影響が長く尾を引き、先行きが見えない状況が続いています。資金繰り支援や補助金申請などのニーズにはどう応えてきましたか。

青木 先ほど申し上げましたとおり、ポリシーとして顧問先に直接足を運び、膝を突き合わせながら経営サポートを行ってきたのですが、さすがにコロナショック真っ只中の5月は訪問を控えました。

そんな中、顧問先支援策として活用したのが、MJSが4月に提供開始した「資金繰り支援対象判定機能」です。これは「ACELINK NX-Pro」の会計データから顧問先の売上高の前年・前々年比の増減率を算出し、それをもとに経済産業省の「持続化給付金」をはじめとする10種類の支援策の支給・融資対象か否かを判定するというものです。この機能のおかげで適切な支援策の提案を迅速に行うことができ、急を要する資金繰りの相談にもしつかり応えることができました。

もちろん、持続化給付金の申請につ



顧問先にとって常に身近な立場から支援することを信条とする青木 修一先生

いては早い段階から所内でマニュアルを作成して申請支援をいくつも手掛けましたし、新たに自治体などの臨時支援などが発表された場合には、その都度所内で情報共有を行って顧問先支援の可能性を探りました。小規模な事務所だからこそ、こうした非常時にも即座に対応できたのだと思います。

またコロナ禍において、リモートワークも本格的に導入しました。対顧問先について、当事務所ではかねてより自計化を推進しており、かなり以前から「記帳くん」シリーズを活用してきました。近年では「ACELINK NX 記帳くん」といったシステムの導入サポートを行ってきましたが、昨年からは少しずつ「かんたんクラウド」の取り扱いも始めています。訪問による情

報交換は難しいものの、会計業務の支援に関してはこれらのシステムでうまくカバーできています。一方の所内については、遠隔から事務所のパソコンを操作できる「CompassリモートPC2」を以前より導入していましたので、これを活用して職員のテレワークを推進しています。

最後に、今後の展望をお聞かせください。

青木 息子が職員として働きながら税理士資格取得を目指しているところですから、いずれ彼が代表にな

ラウドサービス「EdgeTracker」を導入し、同社の従業員が給与明細をパソコンやスマートフォンなどで手軽に参照できるようにするなど、業務効率化を図っていました。ぜひその調子でICTを積極的に取り入れながら、次世代の顧問先企業の経営をサポートしていったらいいと思います。

つたら、これまでの私たちの顧問先支援のスタイルを引き継ぎつつ、自分が思う通りに新しい試みをどんどん進めてほしいと思います。

——例えば、どんな試みや挑戦を次世代に期待していますか。

青木 さまざまな場面でICTを取り入れていってほしいですね。例えば、息子は先ほどお話した顧問先の経理全般をアウトソーシングで引き受けた際にも、すぐさまMJSの従業員向けク

History & Story

税理士までの歩み

青木先生は当初、事業を営んでいた父上の後を継ぐための勉強の一環で横浜簿記学校に通い、地元の会計事務所に勤め始めたといいます。ところがいざ勉強してみると、簿記そのものの面白さに目覚めるとともに、さまざまな数字から企業の経営状況を読み解き、それをもとに経営サポートを行う税理士の仕事に憧れを抱くようになったそうです。そこで家業は弟に任せ、青木先生は会計事務所に勤めるかたわら勉学に励み、1982年に試験合格。その7年後に独立し、自らの事務所を開業されました。

第45回ミロク会計人会連合会定期総会報告

ミロク会計人会連合会および各単位会の定期総会が開催されましたので、ご報告いたします。

大半の開催が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、テレビ会議で実施されました。

日時 2020年7月22日(水)

会場 株式会社ミロク情報サービス(リモート開催)

議題

第1号議案 第44期事業報告承認の件

第2号議案 第44期収支決算承認の件

監査報告

第3号議案 第45期事業計画(案)承認の件

第4号議案 第45期収支予算(案)承認の件

第5号議案 役員改選(案)承認の件

報告事項

(1) 新任副会長及び新任理事の件

(2) 『第45回全国統一研修会 熊本大会』開催延期の報告

(3) 各単位会の状況

(4) 各委員会の活動

(5) MJSの現状

(6) その他

次の方々が連合会副会長、委員長理事、監事に選任されました。



連合会 新任副会長
中国会 新会長
清水 俊介



連合会 新任副会長
北陸会 新会長
桶屋 泰三



連合会 新任監事
北陸会
平野 豊



連合会 情報ネットワーク委員会
新任委員長理事
北海道会
久保 且佳

単位会 定期総会報告

中国会

日時/2020年7月8日(水)
会場/MJS広島支社・岡山支社(リモート開催)
《審議事項》
第1号議案～第3号議案承認の件
《特記事項》
人数を限定して開催

東京会

日時/2020年7月2日(木)
書面審議総会
《審議事項》
第1号議案～第4号議案承認の件

四国会

日時/2020年7月13日(月)
会場/MJS高松支社
《審議事項》
第1号議案～第3号議案承認の件
《特記事項》
人数を限定して開催

北陸会

日時/2020年6月2日(火)
会場/MJS金沢支社
《審議事項》
第1号議案～第6号議案承認の件
《特記事項》
人数を限定して開催

北海道会

日時/2020年7月3日(金)
書面審議総会
《審議事項》
第1号議案～第3号議案承認の件

九州会

日時/2020年7月17日(金)
書面審議総会
《審議事項》
第1号議案～第4号議案承認の件

中部会

日時/2020年6月17日(水)
書面審議総会
《審議事項》
第1号議案～第4号議案承認の件

東北会

日時/2020年7月14日(火)
会場/江陽グランドホテル
《審議事項》
第1号議案～第4号議案承認の件
《講演会》
演題/管理職のための、スベらないコミュニケーション
講師/コミュニケーションプロデューサー 夏川 立也 氏

沖縄会

日時/2020年6月16日(火)
書面審議総会
《審議事項》
第1号議案～第5号議案承認の件

近畿会

日時/2020年7月16日(木)
会場/ホテルグランヴィア大阪
《審議事項》
第1号議案～第2号議案承認の件
《記念研修会》
演題/財産評価に関する近年の改正の重要ポイント解説
講師/MJS税経システム研究所 客員研究員
税理士 武田 秀和 氏

関東信越会

日時/2020年7月9日(木)
会場/MJSさいたま支社
《審議事項》
第1号議案～第5号議案承認の件
《特記事項》
人数を限定して開催

高輪ゲートウェイ駅と その周辺の魅力

今年3月14日、山手線30番目の駅となる高輪ゲートウェイ駅が品川—田町駅間に誕生し、同線では49年ぶりの新駅ということもあって話題になりました。そこで、この機会に同駅の趣向や特徴、駅周辺の見どころや史跡、そして新駅を中核とした新たな都市開発の動きなどについて、一般社団法人港区観光協会の渡邊 仁久会長にお話をいただきました。

かつての高輪大木戸が
新たなゲートウェイに

JR品川駅の北側、山手線田町—品川間にある車両基地の一部とその周辺エリアを舞台に、JR東日本が大規模な都市開発事業「品川開発プロジェクト」を進めています。まちづくりのテーマは「グローバルゲートウェイ品川」。「国際ビジネス交流拠点にふさわ

しい多様な都市機能の導入」などの方針の下、広大な敷地内に国際水準のホテルや高層マンション、複合商業施設、文化創造施設、巨大駅前広場などが整備される予定です。高輪ゲートウェイ駅は、同プロジェクトの中核施設として開業したものです。「グローバルゲートウェイ品川」のまちびらきに合わせ2024年頃には全設備が使用開始されます。

その駅名は賛否両論を巻き起こしましたが、「ゲートウェイ」に込められた歴史的背景についてはぜひ多くの人に知ってもらいたいものです。皆さんはかつて高輪に「大木戸」が置かれていたことをご存じでしょうか。大木戸とは街道上の江戸内外の境界に設置された関所のことで、人間や物品の出入りを管理する役割を有していました。つまり、高輪は古くから江戸の玄関口だったのです。JR東日本はそんな歴史ある高輪の地を現代において東京の新たな国際ビジネス交流の玄関口に生まれ変わらせようと、新駅の名称を「高輪ゲートウェイ駅」としたわけです。

最先端技術溢れる
次世代型の駅舎

JR東日本が「新しいことをはじめる場所」と位置付けている通り、高輪



高輪ゲートウェイ駅の外観
提供:JR東日本



無人AI決済店舗「TOUCH TO GO」
提供:JR東日本

ゲートウェイ駅の駅舎には、新時代の国際ビジネス交流の玄関口にふさわしいさまざまな趣向が凝らされています。

まず何より目を引くのが、建築家の隈研吾氏による洗練された「和」のデザイン。随所に福島県産の杉材などが用いられている他、4000㎡の白い大屋根は折り紙がモチーフとなっています。日本の駅舎としては珍しい吹き抜け構造なので、ホーム階でもこの天井からのやわらかな光を感じることができま

す。

そんな駅舎内を歩いてみれば、そこかしこに最先端技術が活用されていることに驚くでしょう。例えば改札内のコンコース2階にある無人AI決済店舗「TOUCH TO GO」では、店内に設置したカメラやセンサーで利用者が手に取った商品を認識し、購入金額を自動的に計算してくれます。他にも、利用者の音声を認識して駅構内や周辺観光スポット、乗り換えなどを日



泉岳寺境内にある「血染めの梅と血染めの石」。浅野内匠頭長矩が田村右京大夫邸で切腹を行った際、その血がかった石と梅だと伝えられている



浅野内匠頭長矩とその夫人の瑤泉院、四十七士が埋葬されている泉岳寺の山門



高輪大木戸跡。江戸時代中期の1710年、現在の銀座8丁目付近に石垣を築いて設置され、その十数年後に現在の場所に移設されたという



約23000㎡の広大な駅前広場。駅開業イベント「Takanawa Gateway Fest」(7月14日～9月6日)の舞台に
提供:JR東日本

本語、英語、中国語、韓国語で案内してくれるAIサイネージ、警備や清掃、案内、移動支援、消毒作業といった業務を担う各種ロボットが試行で導入されるなど、まさに次世代を思わせるワクワク感に満ちています。

往時の歴史・文化が 感じられる高輪散策

このような次世代型駅舎を中核として、今後の都市開発で新都心とも呼べる新たな街が形成されていくこととなります。その「グローバルゲートウェイ」としての高輪とともにぜひとも注目したいのが、先に述べた歴史的背景を今に伝える史跡や名所の数々です。というわけで、駅周辺のスポットをいくつか紹介いたしましょう。

まず駅を降りて真っ先に見てほしいのが、かつての「高輪ゲートウェイ」の痕跡である高輪大木戸跡。江戸の各町にあった「町木戸」に対して、この

大木戸は江戸全体を守る最重要の木戸として旅人やその送迎客で大いに賑わったといえます。伊能忠敬が日本地図作成のための測量の起点としたのも、この大木戸でした。現在では国道15号線沿いに東側の石垣が残っているのみですが、現存する江戸大木戸の遺跡はここだけ。ぜひその姿を一目見てから、高輪散歩を始めてください。

高輪における歴史探訪といえば、外せないのが萬松山泉岳寺です。播磨赤穂藩浅野家の菩提寺で、第3代藩主・浅野内匠頭長矩とその夫人の瑤泉院、四十七士が埋葬されており、記念館では遺品などを観覧することができます。

この泉岳寺をはじめ、周辺には赤穂浪士のゆかりのスポットがいくつかあります。その一つが泉岳寺北西に位置する「大石良雄外十六人忠烈の跡」。赤穂浪士のうち大石内蔵助良雄を含む17名が切腹をした場所と伝えられています。幕府の命で彼ら17名を預かった細川家

の高輪下屋敷の敷地は現在、高松中学校などになっていますが、その屋敷跡の一部が塀に囲まれて残されています。これらの他、天下のご意見番として講談や映画などで人気の旗本、大久保彦左衛門とその家来株の一心太助の墓がある立行寺、同じく大久保彦左衛門が余生を送った八芳園、1933年に建てられたレトロな外観の高輪消防署二本榎出張所、かつてJR線路の下を小舟が通るための水路だったという「天井が低すぎる」高輪橋架道橋など、往時の歴史や文化が感じられるスポットはまだたくさんあります。

また、飲食店や商店が少ないエリアながら、小泉純一郎元首相が愛した餃子で有名な中華料理屋「壇太」や絶品の豆大福を求めて行列ができる老舗和菓子屋「松島屋」などこだわりのお店も点在しているので、余裕があれば散策の際に立ち寄ってみるのも良いと思います。

高輪ゲートウェイ駅周辺について駆け足で紹介してきましたが、いかがでしたでしょうか。高輪を訪れる際は、ぜひ新時代の都市の姿と在りし日の町の姿、両方をご覧ください。



高輪消防署二本榎出張所



伊皿子交差点近くにある大正7年創業の老舗和菓子屋、松島屋



人気の豆大福



現在のところ、線路を挟んで海側に行くには泉岳寺駅にほど近いこの高輪橋架道橋を通る必要がある。トンネル新設のため、現在は車両通行止め



旧細川邸のシイの木は都内有数のシイの巨木で都の天然記念物



塀には「自刃せる義士」たちの名と享年が刻まれている



大石良雄外十六人忠烈の跡(中には入れません)

「文化・アートのみち」に進化した 東京・立川の魅力と見どころ

東京都立川市が近年、「文化のみち」として注目されています。駅前に「ファール立川アート」という世界的なパブリックアート群が点在するだけでなく、「立川まんがばーく」という国内有数のマンガ施設なども大人気です。いかにして立川は「文化のみち」になったのでしょうか。その歩みとともに現在の街の見どころを立川市産業文化スポーツ部地域文化課の小林 政仁文化振興係長と「立川まんがばーく」の高木 宏政館長にご紹介いただきました。

「まち全体が美術館」構想で
新たなまちづくりを推進

小林 政仁氏

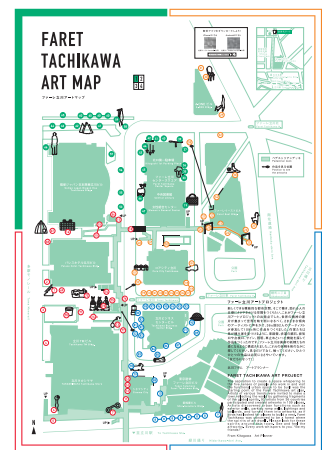
(立川市 産業文化スポーツ部 地域文化課 文化振興係長)

JR中央線特別快速電車で東京駅から40分、新宿駅から25分という立地にある立川市(人口約18万人)は、商業施設やオフィス、教育施設、文化施設

などが充実した東京三多摩地区の中心都市です。交通の利便性も高く、立川駅には中央線、青梅線、南武線といったJR各線が乗り入れ、また、立川駅前にある立川北駅と立川南駅から多摩都市モノレールも利用できます。

かつての立川といえば、「基地のみち」というイメージで知られていました。実際、1922年に旧陸軍が立川飛行場を設置してからしばらくの間、立川は工場・軍需産業のみちとして栄えました。その後、第二次世界大戦の終戦に伴い立川飛行場は米軍に接収され、米軍立川基地として使用されることに。こうして立川は「基地のみち」として知られるようになったのです。米軍基地は77年に横田基地に移転され、その広大な跡地は国営昭和記念公園、陸上自衛隊立川駐屯地などに活用されています。

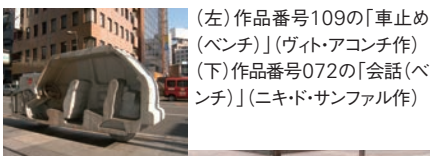
もちろん、米軍立川基地跡地はその他にもさまざまな形で活用されています。その一つとして、JR立川駅北口の立川基地跡地関連地区第一種市街地再開発事業(施行者は住宅・都市整備公団、現UR都市機構)により、94年に「ファール立川」というエリアが開発されました。これはホテルやデパート、映画館、図書館、オフィスビルなど11棟の建物から成る5・9haのエリア



ファール立川アートマップには109点の作品が見られる場所とその解説が記載されており、無料で入手することができます

アで、ここには今、36カ国92人の作家による109点のパブリックアートが設置されており、車止めやベンチ、街灯、換気口、通路、駐車場入り口サイン、歩道の舗石など、街の至るところで目にすることができます。

このように「世界を映す街」「機能(ファンクション)を美術(フィクション)」に「驚きと発見の街」といったコンセプトを持つファール立川は、都市計画の観点からも高い評価を受けており、国内外から多くの方が観光や視察などに訪れています。最近ではパブリックアートの代表例として、図工の教科書に掲載されている他、立川市では小学校の授業のフィールドとしても活用されています。(エキキュート3Fにある)東京都観光情報センター多摩などでは作品や作者の紹介、設置されている場所、見どころなどを解説した「ファール立川アートマップ」が無料で配布されているので、ぜひ手にとって散



(左) 作品番号109の「車止め(ベンチ)」(ヴィト・アコンチ作)
(下) 作品番号072の「会話(ベンチ)」(ニキド・サンファル作)



ファール立川アートマップ

ファール立川の街区風景。イタリア語の「FARE(創る・創造する・生み出す)」に立川の頭文字「T」を付けた街区「ファール(FARET)立川」には世界36カ国92人の作家による109点のパブリックアート「ファール立川アート」が点在する。写真は作品番号070の「オープンカフェテラス」(ジャン＝ピエール・レイノー作)と名付けられた赤い植木鉢と自然石で構成された作品



ひとくちメモ

●三多摩地区

東京都西部の呼称。東京23区と島しょ部を除いた地域のことを指し、名称は西多摩・北多摩・南多摩の3つの旧郡名に由来する。26市3町1村で構成され、単に多摩地区、多摩と呼ばれることもある。

●パブリックアート

美術館やギャラリー以外の広場や公園、道路などの公共の空間（パブリックスペース）に設置されたアート作品。建築物の壁などに設置されているものも含む。日常空間の中で誰でもアートを体験することができるのが魅力。

●ファール立川

東京都立川市曙町2丁目付近
アクセス: JR立川駅北口から徒歩3分、
多摩モノレール立川北駅から徒歩2分
問い合わせ: ファール立川アート管理委員会事務局
(立川市産業文化スポーツ部地域文化課内)
042-523-2111 内線4501
<https://www.faretart.jp/>

●立川まんがぱーく

東京都立川市錦町3-2-26
子ども未来センター2F
TEL: 042-529-8682
アクセス: JR立川駅南口から徒歩13分、
JR西国立駅から徒歩7分
営業時間: 10:00～18:00
(平日・土日祝は2部入替制)
入館料: 大人400円、小人200円(小・中学生)
<https://mangapark.jp>

策がてら世界のアートをご覧になっていただければと思います。

まんが4万冊・絵本2000冊
畳敷きの館内に年間10万人が来館

——高木 宏政氏（「立川まんがぱーく」館長）

「文化・アートのまち」を代表するもう一つの文化施設が2013年にオープンした「立川まんがぱーく」です。その誕生のきっかけは立川市役所の移転でした。もともと立川市役所は立川駅南口にあり、1000人の職員が働いていました。その後、10年に新市庁舎が立川駅北口に開設されると、立川駅南口エリアの人通りが減少し、南口商店街から以前の活気が失われてしまったのです。そこで、市ではこの老朽化していた旧庁舎の活用を模索し、耐震工事や大規模改修工事を経て12年に

「子ども未来センター」として開業することになり、そして、その活用プロジェクトを公募したところ、「まんがぱーく」が採用されることになったのです。

なぜ「立川でマンガなのか」と思われるかもしれませんが、実はJR中央線沿線のまちはマンガ、アニメ、フィギュアなどのサブカルチャーが盛んで、中でも立川市は当時、映画化もされた『聖☆おにいさん』をはじめ、数々のマンガやアニメ作品の舞台になっていたことから、「マンガの聖地」として人気を集めていました。そういった背景のもと、市ではマンガによる地域振興や観光振興に取り組むことになり、その拠点として「立川まんがぱーく」の立ち上げを決定したのです。なお、指定管理者としてこの施設の管理・運営にあたっているのは（株）合人社計画研究所（本社・広島県広島市）で、私は

18年から「立川まんがぱーく」の3代目館長を務めています。

現在、この「立川まんがぱーく」には4万冊のマンガと2000冊の絵本が蔵書として所蔵されており、館内で自由に閲覧していただけます。内装には木材をふんだんに使用し、「昭和の民家」をイメージしていただけるようになっています。また、館内では靴を脱いで、畳敷きのフロアでゆったりとマンガを楽しんだり、39個設置された押し入れのようなスペースに入ってリラクゼーションすることが出来ます。一般のマンガ喫茶より格段に安い入場料（大人400円）で一日中過ごせるとあって、地域内外の皆さんに愛用いただいております。「一日中、好きなマンガを読んでものんびりできるなんてまるで楽園」といった声を頂戴しています。ただ、現在はコロナ禍の影響もあり、入場者数を制限中です。通常は1日平均約300人の方に入場していただいていたのですが、今はコロナ対策で最大120人までとしています。ご来館の際は事前に混雑状況などをご確認いただけますと幸いです。

ぜひ、皆さんも首都圏にお越しの際には「文化・アートのまち」に進化した立川にも足を延ばしてみてください。



入り口には立川に縁のある「のらくろ」がお出迎え。カフェも併設しているが、現在は休業中



木製の押し入れのようなボックスでリラックスしながらマンガを読む子どもたち



畳敷きの館内で思い思いの姿勢でマンガや絵本を楽しむ来館者たち



「立川まんがぱーく」の外観。旧立川市庁舎を改修した子ども未来センターの2階にある

キョンなどの狩猟体験ツアーで 「命と自然の尊さ」を伝える

千葉県房総半島で有害獣として駆除の対象となっているキョンという動物をご存じでしょうか。キョンは中国南東部と台湾に分布するシカで、日本では2005年に特定外来生物に指定されています。千葉県ではレジャー施設から逃げ出したものが野生化、その数は5万頭にも達しており、ここ数年、農産物などに深刻な被害を与えています。そこで、千葉県いすみ市でキョンやイノシシなどの害獣駆除に携わった経験をもとに、その肉や皮を活用した事業を展開している石川 雄揮氏に害獣被害対策の現状と事業の内容についてお話をいただきました。

シカの最期の姿に圧倒され

私は2018年から千葉県いすみ市で狩猟を中心にした自然体験ツアーなどを提供していますが、以前はフリーランスの記者やテレビ制作会社のディレクターとして、貧困に苦しむ子どもたちやパレスチナ、アフガニスタン、リビア、ミャンマーなどの戦場取材していました。そんな私にとって大きな転機となっ

たのが、房総の森での狩猟体験ツアーでした。心身ともに疲弊しきっていたときに思い立って参加してみたところ、罠にかかってもがきながら、必死に仲間と危険を知らせようとするシカの最期の姿に圧倒され、あらためて「命と自然の尊さ」について考えることができました。そして、自分も狩猟を通して、命と自然と向き合い続けたいと考えたようになったのです。

こうして私は15年、東京から父の故郷でもあるいすみ市に移住し、狩猟免許を取得、同市の猟友会ハンターとして「地域おこし協力隊」(※)に採用され、キョンやイノシシといった有害鳥獣対策を担いました。実をいうと、キョンのことはこちらに来るまでは知りませんでした。キョンとはシカ科の小型草食獣で、国内では千葉県と伊豆大島で野生化しています。成獣の体重は10kgほどと小さいのですが、農作物被害や生態系への影響が危惧されています。

駆除から狩猟体験ツアーへ

私が地域おこし協力隊に赴任した時も、いすみ市の農家の方や住民の皆さんは大增殖するキョンの被害に苦しんでいました。草食動物ですから柑橘系の葉や大豆の新芽、ブルーベリー、ハーブなどをことごとく食べてしまう

のです。しかも、警戒心が強くて捕獲が難しく、猟師が少ないことも相まって、その数は増え続けていました。実際、当時は千葉県内の生息数5万頭に對し捕獲数が年間でわずか2400頭といった状況でした。

こうした中で、私はワイヤーなどで足をくくって捕らえる罠猟を中心に、キョンなどの駆除活動に取り組んできました。そして任期が終了してからは2018年9月にハント・プラス合同会社を設立し、狩猟体験ツアーなどを展開し始めました。現在、当社の狩猟体験ツアーでは「命と自然の尊さ」を伝えたいという思いから、猟師目線で山歩きをして、罠にかかったキョンやイノシシを捕獲し、解体してその肉を食べてもらうといった取り組みをしています。また、キョンの命を最大限に活用するために、革の活用も進めています。キョンの革は柔らかく、きめ細やかなので、古くから赤ちゃん用品の素材などに使われてきたそうで、当社ではその革でキーケースなどのクラフト小物を制作するワークショップを開いています。

これからも引き続き、狩猟の現場を通して、獣害被害の現状、そして「命と自然の尊さ」を伝えていきますので、機会があれば、ぜひ房総での狩猟体験に参加してみてください。



グランピングなどの宿泊サービスも提供。透明なバブルテントに宿泊し、ジビエバーベキューや星空観察を楽しむことができる

「狩猟体験に参加してみたい」と話す石川代表ハンター

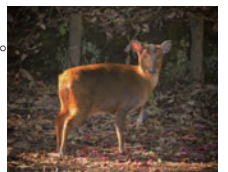


キョン革クラフトワークショップではキーホルダーなどを制作



狩猟体験ツアーでは解体も体験する

すばしっこくて捕獲が大変なキョン。肉は柔らかく、台湾では高級料理とされている



狩猟体験ツアー。山登りをしながら罠の仕掛け方などを学ぶ



「納税貯蓄組合」

東京ミロク会計人会

東京都世田谷区 宇津木 一郎



東京納税貯蓄組合総連合会会長賞を受賞した生徒の皆さんと

私は現在、世田谷納税貯蓄組合連合会の会長を務めております。東京都でも税務署単位の連合会が48ありますが、税理士様が会長を務めているところが他にもあります。この会の役割は、もともととは納税資金の貯蓄を勧めることです。例えば、税率の上がつた消費税をしっかりと納税するように、貯蓄を勧めるといったことです。しかし、現在は中学生の「税についての作文」の募集、審査、表彰の業務のほうが大変です。昨年、当連合会に16校か

ら1300編の応募がありました。こちらを審査し、東京納税貯蓄組合総連合会会長賞4編、世田谷税務署長賞2編、世田谷都税事務所長、世田谷区長、世田谷青色申告会会長、世田谷法人会会長、世田谷間税会会長、東京税理士会世田谷支部長賞を各1編、受賞者を選定させていただきました。本稿とともに写真を載せている、「一日税務署長」という行事に出席していた方々は、東京納税貯蓄組合総連合会会長賞を受賞した生徒様方です。さすがに立派な作文を書ける方々なのですが、直接お話を聞かせていただきますと、さらにその人間性に感動させられました。

昨年は、東京都で7万3743編、全国で57万8204編の応募があり、総理、総務、財務、文部科学大臣賞4編の下に国税庁長官賞40編、以下多数の賞を受賞された生徒様方がいらっしゃいます。数年前に世田谷納連から上申した作文が、国税庁長官賞を受賞した事がありますが、そういう立派な作文を必ず上申することを目標として、審査をさせていただいております。

さて、この納税貯蓄組合連合会は税務署の協力団体として認識していただいておりますが、他に「税についての作文」に会長賞を出している4団体も同様に認識されています。その中で納税貯蓄組合連合会だけは、1951年に公布された納税貯蓄組合法に基づく団体ですので、地方公共団体から補助金をいただいております。

今後とも積極的に活動していけるよう努力させていただきますが、ご協力いただける方はぜひ声をかけてくださいますよう、よろしくお願い致します。

表紙の写真



「趣向を凝らした高輪ゲートウェイ駅の構内」(東京都港区)

今年3月14日に開業したJR山手線高輪ゲートウェイ駅。設計は建築家の隈 研吾氏が手掛け、随所に福島県産の杉材などを活用した「和」を感じられるデザインが特徴的です。構内は日本の駅としては珍しい吹き抜け構造で、開放感溢れる造りになっています。(提供:JR東日本)

MJSより

製品解説から経理体操までYouTubeで動画を配信中!



MJS YouTube
公式チャンネル

税理士事務所 CHANNEL

発行 株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-29-1
TEL. 03-5361-6309
(経営企画・広報IRグループ)

発行人 是枝周樹

編集企画 ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局、
経営企画・広報IRグループ

監修 ミロク会計人会連合会広報委員会

配信制作 東方通信社

印刷 耕文社

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。禁無断転載

FORTINET®



テレワークを安全に始めたいけれど、何から揃えたらいいんだろう

FortiGate で あなたの家がオフィスになります



PC 1 台とインターネット環境と **FortiGate** が
あればテレワークを安全に始めることができます



FortiGate は PC 1 台から安全なテレワーク環境を
実現する高性能 VPN ソリューション

NVC NETWORK VALUE COMPONENTS

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

TEL: 03-5714-2050 FAX: 03-5714-2051

<http://www.nvc.co.jp/> Mail: sales@nvc.co.jp

一歩先の「ニーズ」を満たすネットワーク構築で
私たちは未来をカタチにします。

FORTINET 社認定サービスパートナー

本書に記載されている会社名、製品名・サービス名は各社の登録商標または商標です。